

2. 学部授業科目

計画

授業科目名 (英文表記)	色彩 デザイン 論 (Color Scheme Theory)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	川角 典弘		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 5月12日(出) 13:00~16:10	第5回 6月9日(出) 13:00~16:10	
	第2回 5月19日(出) 13:00~16:10	第6回 6月16日(出) 13:00~17:50	
	第3回 5月26日(出) 13:00~16:10	第7回 6月30日(出) 13:00~16:10	
	第4回 6月2日(出) 13:00~16:10		
<p>【授業の概要・ねらい】 この講義では、日常生活に欠かせない色彩デザインについて、人間心理/色彩科学/配色計画/空間色彩/デジタルメディアによる色彩といった色彩計画の基礎を網羅的に解説します。人が親しみやすく、快適に感じる配色デザインの知識を得ることで、都市景観や広告物のあり方を審美的な視点で観察/評価し、多角的な視点からまちづくりや景観問題に取り組めるスキルを養います。前半は、色彩により受ける心理的な影響や効果、優れた配色を行うための色彩調和と色彩表現について学び、色彩デザインの基礎知識を理解します。後半からは、実践としてプロダクト設計、建築・インテリア、街路・都市計画の分野で行われる色彩調査やカラープランニングの技法を解説します。</p> <p>【授業計画】 第1回 カラーデザインについて、色彩研究の歴史 第2回 色彩の心理(その1)(その2) 第3回 色の表し方と表色系(その1)(その2) 第4回 色彩調和と配色(その1)(その2) 第5回 色感覚と知覚、インテリアの色彩 第6回 色彩調査とカラープランニング…スマホアプリを使った色彩調査(フィールドワーク)、環境の色彩 第7回 カラーユニバーサルデザイン、デジタルメディアによる色彩</p> <p>【到達目標】 履修者が独自の審美眼を培い、ものづくりや広告・看板などのグラフィックデザイン、さらには歴史的街並みの保全や維持に貢献できる問題発見的な考察を行えることを到達目標にします。色彩計画の最低限の事柄を理解している場合はC、基礎知識を有している場合はB、色彩提案や検証が行える場合はA、独創的な提案や審美的考察を行う実践的知識を有している場合はS評価となります。</p> <p>【成績評価方法】 各講義で述べる領域の区切り毎に理解度を確認する小テストを実施、色彩調査実習での成果報告レポート、講義全体に関連したテーマでのレポートによる総合評価で成績判定を行います。各配分比率は原則、以下に従います。小テスト：20%、実習報告レポート：20%、レポート：60%講義はそれまでの講義内容を前提に進めますので、出席を重視し、欠席過多やレポート未提出の場合、不合格となります。(学部学生対象)</p> <p>【教科書】 特にありません。</p> <p>【参考書・参考文献】 適時、紹介する他、配布資料を使用</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 身近なデザイン要素である色彩について、事例や理論について紹介し、デジタルツール(スマホ等)を使って簡単な色彩調査を行います。多様な色彩が町並みにどのような影響を与えるのかに興味があり、広告やデザインに色彩計画を取り入れたいと興味を持っている方におすすめします。</p> <p>【授業時間外学習についての指示】 本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。</p> <p>【その他の連絡事項】 景観色彩調査などのフィールドワーク実習では一部スマートフォンあるいはタブレットを使用します。場所は岸和田サテライト周辺となります。</p>			